

よい点

- 全体的に絵の質がアップし、効果の使い方など表現力も上がっていると感じた。
- 話の内容が良かった。ただし、惜しい点がいくつかあった（後述）。正直そこを改善すればこの本はもっと化ける。
- 表4が空になったベンチなのが読後感を誘って良い。
- タイトルのリズムが良く、詩的で素敵。

よくない点

- タイトルにある「アングレカム」、作中に出て来ない。景品表示法違反。

惜しかった点とその改善案

デート後のやちよが突然話題を転換するように見えた。原因は2つ

◆1点目◆

鶴乃の「**ずっと**続いてくれたら」「今度は**みんなで**来よう」という言葉が やちよに「受け継いだ力も徐々に弱くなっており、いつかはみんなを守れなくなる」ことを意識させるシーンだと思われるが、鶴乃の台詞があまりにも自然すぎるため、言葉の一端がやちよに引っ掛かっていることが読者に伝わりにくい。やちよの恐れを表現するなら、鶴乃の台詞のあとにやちよが「ずっと...みんなで...」などと小さく呟くコマがあるとよかったかも？

◆2点目◆

この直後にある鶴乃への感謝と謝罪のシーンは蛇足に感じた。なぜなら、鶴乃に無理をさせていた事は既に解決済みの時系列（うい救出後）であるため。水族館デート中に鶴乃にまた1人で無理させてしまうような描写があったなら納得できるが、ここで改めてこの話を蒸し返す理由が不明。これだけは何度読んでも読み解けず。恥ずかしくて鶴乃と2人きりの時でしか言えなかった？だとすればやちよに「こんな事、みんなの前じゃ言えないから」とか言わせた方がいい。

そして「無茶させてごめんね。でもありがとう」からの「私の力はその子たちの想いを受け継ぐもの...」という話の流れになっており、不自然。鶴乃の「**ずっと**続いて～」 「今度は**みんなで**～」でやちよが力の衰えを感じたなら、「無茶させてごめんね。でもありがとう」のページは挟まずそのまま「私の力はその子たちの想いを受け継ぐもの...」のシーンに繋げた方が違和感はない。

なぜ鶴乃はそんなにやちよと一緒にいたいのか分からない

やちよが鶴乃の事を気に入る要因はあったが、鶴乃はやちよのどこが好きなのかが分からないため、プロポーズに説得力があまりない。水族館デート中に「やちよの魅力ポイント」が表現されていたら納得感がまだあったかも？可愛い鶴乃を描きたいという作者の思いがあるため鶴乃の愛くるしさは感じるが、やちよの魅力はほとんど描写されていない。

鶴乃がやちよと一緒に居たいと思っている理由は、「やちよの強さや力」ではないことは明らか。では、鶴乃はやちよのどこがそんなに好きなのか？別に告白シーンでハッキリと言葉にする必要はないが、デート中

のシーンなどで「鶴乃から見たやちよの強さ意外の魅力」がやんわりとでも表現されているとなお良かった。告白の直前にそのシーンのコマをフラッシュバックのように入れるとより伝わりやすいかも。

総評

話のネタ自体はポテンシャルを持っていて魅力的だが、描きたいものしか描いてないため読者を引き込む要素が薄く、いまひとつ魅力が伝わりにくい。水族館デートに行くのがメインかと思いきや水族館は1ページしかないため、そこの描写をもっと増やしてラストに向けての伏線を張っておき、最後に回収できたらよりエモさが上がって共感できたと思われる。

その他の指摘

- 13ページ1コマ目、鶴乃の「はい？」が残ってる。文字の消し忘れかフキダシの書き忘れ？
- 16ページ2コマ目のやちよの「鶴乃...」のフキダシ位置&大きさが悪い。3周読んで存在に気づいた。
- 19ページ1コマ目、魅せゴマなのにやちよさんの眉毛がない。

最後に

多分ここまで読んだらメンタルがやられて「ボロっカスに言われた」と思うかもしれないので誤解しないように書いておきます。物語自体を否定してはいませんし、たんれーさんが描きたいもの、描いたものを否定したわけでもありません。惜しい所があったのでこうした方がもっと良さが伝わるよ、という助言をしているつもりです。最初にも書きましたが、伝わりにくい所を直せばもっと化ける漫画だと思っています。個人的にはリメイクしてまた出して欲しいという思いがありますが、それも難しいと思うので次回作に期待しています。

おまけ こうするともっと魅力的！（デザイン面）

- 台詞のフォントを要所要所で変えてみましょう。また、クリスタのテキストツールでの「太字」機能は極力使わず、太字用に作られたボールド書体を選びましょう。いろいろな漫画で使われているフォントと似たフォントを探すのも、とても勉強になります。以下の例の（）内のフォントは、Adobe Fontsで使えるプロ向けフォントです。
 - 【例】心の中の台詞は細めの丸ゴシック系（[A-OTFじゅんPro](#)、[平成丸ゴシックStd](#) 等）
 - 【例】大きな声や印象付けたい台詞はゴシック体のボールド（[源ノ角ゴシック](#)、[TA-角ゴGF](#) 等）
 - 【例】楽しいときの台詞はポップ体（[モッチーポップ](#)、[ハッピールイカ-05](#) 等）
- タイトルロゴは色の変化が激しいと可読性が下がって読みづらいです。グラデーションは特に色の変化が大きいとダサく見えます。フチ取りをするなら太くとりましょう。
- Adobe Fontsのデザイン系フォントを漁るのもおすすめです。ただし、ある程度読みやすい文字を選ぶよう意識しましょう。